

## 平成30年の建設工事等におけるガス管損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/21	愛知	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者が敷地内工事(掘削機による整地工事)中に、灯外内管(32mm)を損傷しガスが噴出した。当該他工事業者はガス管を損傷したことを認知せず当日作業を終えたため、夕方通行人よりガス臭があると消防に通報し、消防から通報を受けた。他工事業者と事前の工事立会を行ったが、損傷した灯外内管が管理図面に記載がなく、ガス管があることの指示ができなかった。
1/23	兵庫県	土木工事	LPガス	0	新規造成地の排水工事において、立ち会った販売事業者がガス臭に気付き、検知器によりガス漏えいを確認した。原因は、土木工事業者が立会の担当者が到着前に施工を開始し、道路下に埋設している引込供給管が損傷したことによるもの。 なお、土木工事業者は本管の位置と深さについては考慮していたが、引込供給管については考慮していなかった。
1/26	広島	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者から「道路上にて下水道工事中に中圧導管を破損し、ガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、中圧本管(300mm)からのガス漏えいを確認した。原因は、下水道工事業者が事前協議外の場所でボーリングを実施し、中圧導管を破損したことによるもの。 ガス事業者と下水道工事業者は、昨年数回、協議を行っていたが、事故当日分の工事に関しては連絡がなかった。
1/31	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建築工事業者から「新築工事時にバックホウにてガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm:不使用管)が破損されていた。 建築業者からガス事業者への事前照会は無し。
2/6	北海道	排雪業者	LPガス	0	一般住宅において、消費者からガス警報器が作動しているとの連絡を受け現場に出勤した消防と、隣人の連絡により現場に出勤した販売事業者が、メーター付近の除雪を行ったところ、ガスメーターの供給管継手部に亀裂があることを確認した。 原因は、事故発生1週間前に当該宅の屋根の雪下ろし作業を行った排雪業者が、容器やガスメーター付近一帯を雪で埋めてしまい、その荷重により供給管継手部が損傷したことによるもの。 なお、販売事業者によると、3週間ほど前の検針時には、当該設備付近は雪に埋まっていなかったとのこと。
2/13	鳥取県	土木工事	LPガス	2	団地内道路において、下水工事をしていた土木工事業者が重機で道路を掘削中にガスが漏えいした。土木工事業者より連絡を受けた販売事業者1名が現場へ出勤し、漏えいを止めようと掘削穴に進入し、酸素欠乏状態となり意識を失った。また、救出しようと掘削穴に進入した土木工事業者3名のうち1名も同じく酸素欠乏状態となり倒れ、両名とも転倒により軽傷を負った。原因は、事前協議において、下水工事を行う際、販売事業者の立ち会いを要請することとしていたが、事故発生当日は立ち会いを要請せずに工事を行っていたことによるもの。 なお、対応依頼を受けた販売事業者は、十分な装備がないまま対応を試みたため、二次被害が発生した。
2/14	佐賀県	土木工事	LPガス	0	共同住宅において、敷地内の下水管入れ替え工事に伴う地盤掘削作業時に、ガス漏えいが発生した。原因は、掘削用の重機が埋設されていた供給管に接触したことにより、供給管継手部が損傷したことによるもの。 なお、土木工事業者による販売事業者への事前連絡、埋設箇所の確認は行われていなかった。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
2/20	佐賀県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者が埋設された供給管からのガス漏えいを確認した。 原因は、他工事業者が外構をはつり機で改築する際に、埋設された管を損傷したことによるもの。 なお、他工事業者は、販売事業者に対し、事前に工事の連絡をしておらず、埋設箇所の確認は行われていなかった。
2/22	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、低圧本管(300mm)からのガス漏えいを確認した。 当該工事に係るガス事業者への事前照会が無く、カッターによる舗装の切断を行ったため、低圧本管を損傷したものの。
2/22	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「道路標識工事中にガス管を破損し、臭気と噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管(25mm)を破損し、ガス漏えいを確認した。 原因は、歩道を掘削機(アイオン)にて掘削中に操作ミスし、供給管の継手部を破損したものの。
2/25	栃木	造園工事	LPガス(簡易)	0	需要家から「ガス管を損傷した」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管(20mm)からガスが漏えいしていた。損傷箇所がコンクリート下で、即座に補修ができない為、特定製造所メインバルブを閉止してガス供給を停止した。同時に、各戸メーターガス栓を閉止した。 原因は、需要家及び造園工事業者が、敷地内にガス管が無いと思い込んでいたため、ガス管の確認をしないで、コンクリート部分をコンクリートカッターで切断していたところ、ガス管を損傷したものの。
3/1	埼玉県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者からコンクリートカッターにより埋設供給管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、バルク貯槽の元栓を閉めた後、埋設ポリエチレン管上部が損傷していることを確認した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、使用されたコンクリートカッターは火花が出ないタイプであったため、引火には至らなかったと推測される。
3/3	北海道	改装工事	LPガス	0	社員寮において、改装工事業者から配管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が、容器バルブを全て閉栓するよう工事業者に依頼し、現場に出勤したところ損傷部周辺でのガス漏えいを確認した。その後、工事業者に対し作業の停止を依頼し、防食テープで損傷部をふさぎ、翌日に床下点検口へ排風機を接続し、送風や吸引を行った後、配管の修繕作業を行った。 原因は、改装工事業者がコンクリートの床に排水配管用の穴を空ける作業中に誤って床下の配管を損傷したことによるもの。
3/4	福岡	除草作業等	都市ガス	0	消防から「需要家が樹木の根を伐採中に電動ノコギリでガス管を切断した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(30mm)が破損し、ガス漏えいを確認した。 原因は、当該需要家が敷地内のガス管位置を確認することなく、樹木の伐採を行なったため、当社への事前照会無し。
3/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事現場で臭気」との通報を受け、出勤したところ、不使用の灯外内管(32mm)の破損箇所を確認した。 解体工事時、掘削機(バックホウ)で灯外内管の中央部を引き抜く等により、継手部の破損に至ったことでガス漏れが発生したと推定される。 不使用管につき切断プラグ止めにて、復旧完了。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
3/6	山形	整地・造成工事	LPガス (簡易)	0	他工事業者が宅地造成現場にて重機により灯外内管(20mm)部分を掘削し、その際、灯外内管を折損したが、業者の誰もガス管折損によるガス漏洩には気づかずに、折損箇所の埋め戻しを行った。 ガス漏洩により、特定製造所のガス切れとなり供給支障に至った。
3/14	新潟県	路盤改修工事	LPガス	0	共同住宅において、路盤改修工事業者から、作業中に埋設供給管を傷つけ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、漏えいを確認した。 原因は、路盤改修工事業者の作業ミスにより埋設供給管が損傷したことによるもの。
3/15	山形県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、管理会社よりガス配管撤去のため依頼を受けた販売事業者が現場へ到着したところ、すでに解体業者が工事を開始しており、供給管が折損し、ガスが漏えいしていたため、直ちに容器のバルブを閉栓した。 原因は、解体業者が作業中に重機を埋設供給管に接触させ、継手部に負荷がかかり折損したことによるもの。 なお、解体業者から埋設管の有無に関する照会は行われていなかった。
3/16	静岡県	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、検針員より圧力式微量漏えい警告(BR)が表示されている旨の連絡を受けた販売事業者が、翌日現場へ出勤し、露出部の漏えい検査を行った。しかし、漏えい箇所を特定できなかったため、床下の金属フレキシブルホースを切り離し、漏えい試験を行ったところ、漏えいが確認されなかったことから、漏えい箇所を床下配管と特定した。その後、改装工事業者へ依頼し、床下配管を確認したところ金属フレキシブルホースに釘打ちによるものと思われる小さな穴を確認した。 原因は、改装工事業者による床板施工の際の釘打ちにより金属フレキシブルホースが損傷したものと推定される。
3/23	山口県	住宅工事	LPガス	0	団地内の一般住宅において、住宅工事業者が敷地内の駐車場拡張のため、重機による掘削作業を行っていたところ、ガスが漏えいした。 原因は、住宅工事業者が敷地内の埋設管の存在を確認せず、作業を行い、埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、工事前に販売事業者への事前連絡は行われていなかった。 また、損傷したガス管を使用していた当該住宅は、事故発生時空き家であり閉栓中であった。
3/26	山口県	土木工事	LPガス	0	共同住宅において、複数の入居者よりガスが使用できないとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤したところ、土木工事業者により埋設供給管が切断されガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、工事に立ち会っていた都市ガス事業者が、当該供給管が都市ガスからLPガスへの切り替え時にそのまま転用されていることを認識しておらず、使用されていないガス管と考え切断したことによるもの。
4/2	茨城県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者から、誤って埋設供給管を引っ張った旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤したところ、埋設された本管(供給管)と引き込み管へ取り出すためのねじ込み継手(サービステー)のねじ込み部からの漏えいを確認した。 原因は、外構工事業者が駐車場増設の為に敷地内の土を平らにするためのすきとり作業を行ったところ、小型のパワーショベルカーで埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、ねじ込み継手(サービステー)の埋設部分の表示杭が抜かれていたため、外構工事業者が埋設供給管があることを確認できなかったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
4/5	島根	リフォーム工事	都市ガス	1	他工事業者(リフォーム工事業者)の作業員が、灯外内管(25mm)にガスが供給されていないと思い込み、灯外内管のメーター立て管をグラインダーで切断した。その際、ガスが漏洩していたが、漏洩に気付かず、そばにある灯内内管のメーター立て管をグラインダーで切断したため、その火花が漏洩したガスに引火した。 リフォーム工事の作業員は、消火しようとした時に顔に軽い火傷を負った。 他工事業者(リフォーム工事業者)からガス事業者への事前照会は無し。
4/11	新潟	その他(消雪パイプ打替工事)	都市ガス	0	他工事業者から「消雪パイプ打替工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、道路に埋設されていた中圧本支管(80mm)をアスファルトカッターで損傷したことを確認した。損傷箇所直近の中圧路線上のバルブ3ヶ所を閉止し、132戸が供給停止となった。 当該消雪パイプ打替工事は路面を深さ30cm程度掘削して行われる工事であり、マッピング情報で中圧管の埋設深さが0.75mであったことから、工事に支障はないと思い込んで試掘せずに工事を実施した結果、当該箇所では浅く埋設(0.24m)されていたことから、アスファルトカッターで損傷した。
4/14	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から「敷地内杭打ち工事中オーガーにてガス管破損、臭気及び噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm)及び供給管(25mm)の破損を確認した。 原因は、新築工事の基礎工事前の試掘時にオーガーにて、灯外内管管体部及び供給管継手部を破損したものの。
4/19	広島	掘削工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者の重機掘削により供給管(20mm)が損傷し、供給支障となったもの。
4/20	東京	駐車場等工事	都市ガス	2	他工事業者から「駐車場建設工事中ガス管損傷」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(30mm)が損傷し、ガスが漏えいしていた。 ガス漏えい対応を行った際、他工事業者の作業員が実施したコンクリート研り作業中、漏えいしたガスに着火し他工事業者の作業員2名が負傷した。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
5/11	北海道	外構・門扉工事	都市ガス	0	消防から「外溝工事中、ガス管を損傷」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管(25mm)の損傷を確認した。 他工事業者が外溝工事を行うため、敷地内を重機(バックホウ)にて掘削した際、ガス管の存在に気付かず埋設されていた灯外内管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 建設工事業者及び当該需要家からガス事業者へのガス管照会は無し。
5/11	埼玉県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が敷地内の埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、当該住宅は2017年8月に都市ガスへ切り替わったがLPガスの埋設供給管が残存しており、解体工事業者が埋設供給管の存在を知らずに、作業を行ったことで、当該供給管を損傷させたことによるもの。
5/15	群馬	基礎工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者による本支管損傷によるガス漏えい発生に伴い、特定製造所内のメインバルブを閉止して、ガスの供給を遮断した。 他工事業者に事前照会を行ったが、当該業者の確認作業が不足し、本支管に損傷を及ぼした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
5/15	長野県	駐車場等工事	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が駐車場を増設するために敷地内を掘削していたところ埋設供給管(ポリエチレン管)を切断し、ガスが漏えいした。 原因は、他工事業者が埋設管の位置を確認せずに工事を行い、埋設供給管を重機で切断したことによるもの。
5/16	佐賀県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で供給管を損傷し、ガスが漏えいした。解体工事業者から連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、バルブの閉栓と、供給管の閉止処理を行った。 原因は、解体工事業者が供給管の存在を認識しておらず、販売事業者への確認なしに作業を行ったため、重機で埋設供給管からの立ち上がり部を損傷してしまったものと推定される。 なお、当該一般住宅は長期間空き家となっていたため、ガスメーターを撤去し、供給管はプラグ止めを行っていたとのこと。
5/17	東京	排水工事	都市ガス	0	他工事業者から「敷地内排水工事中ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、強いガス臭気を確認した。二次災害防止のため、引込み管遮断装置を閉止し、1棟46戸の供給支障が発生した。 原因は、床コンクリート研り工事中、建設機械にて灯外内管(100mm)を破損したものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
5/17	岐阜	建柱工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者から「建柱工事でアースオーガにて掘削中、ガス具有」との通報を受け、出勤したところ、供給管(25mm)の破損と判明した。掘削構内で即座に対処できず、保安確保のため特定製造所のバルブを閉止、133戸を供給停止した。 原因は、他工事業者が工事範囲にはガス管がないと推測し、アースオーガにて掘削したことによるもので、ガス事業者への事前照会は無し。
5/18	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建設工事業者から「改装工事中、ガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、灯内内管(80mm)の破損を確認した。 原因は、建物改装工事による廊下コンクリート研り作業時、電動チッパーにて灯内内管直管部を破損したものの。 建設工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
5/21	大阪	整地工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)から「敷地内土留めH鋼打設工事にガス管を破損、ガス噴出中」との通報を受け、出勤したところ、地中に埋設されていた灯外内管(25mm)からのガス漏えいを確認した。 原因は、敷地内土留め工事に伴うH鋼打設時に、バックホウ(掘削機)にて灯外内管継手部を破損したものの。 整地工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
5/22	奈良	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から協力企業を通じて「敷地内の新築基礎工事中にガス管を破損し、仮手当できず」との通報を受け、出勤したところ、供給管・灯外内管(30mm)からのガス漏えいを確認した。 新築工事の基礎工事中、バックホウにて供給管・灯外内管の管体を破損したものの。 建設工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
5/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、急にガス臭気がしてきた。若干噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(50mm)からのガス漏えいを確認した。 解体工事中、重車両の通行により灯外内管継手部から漏えいしたものと推定される。 解体工事業者からガス事業者への事前協議は無し。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
5/26	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	協力企業から「解体工事業者が、コンクリート切断時にガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm)からガスが漏えいしていた。 原因は、コンクリートカッターにて灯外内管を損傷したものの。
5/27	福島県	住宅工事	LPガス	0	一般住宅及び共同住宅が混在する敷地内において、住宅工事業者が基礎工事を実施した際に、重機で埋設配管および水道管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、工事の元請け業者は販売事業者への連絡の必要性を認識していたものの、工事の下請け業者が予定を前倒して工事を行ったため、販売事業者へ連絡せず、埋設配管の位置を把握しない状態で工事を行い、重機により埋設配管を損傷させたことによるもの。
5/29	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中における歩道上カッター切り時に、臭気噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管(80mm)の破損を確認した。 水道工事における舗装カッター切りにて、供給管の継手部を破損したものの。
5/30	北海道	基礎工事	都市ガス	0	需要家から「屋外でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、需要家宅に隣接する工事現場でガス臭気を確認した。 原因は、他工事業者が杭打ち工事を行うため敷地内をオーガーにて杭打ちした際、ガス管の存在に気づかず埋設されていた灯外内管(30mm:ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/4	東京	建物建築工事	都市ガス	0	消防から「ガス臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管(40mm)からのガス漏えいを確認した。 原因は、他工事業者がオーガーにて敷地内に埋設されている灯外内管を損傷したものの。 なお、他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/4	北海道	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「掘削中にガス管を破損した」との通報を受け、出勤したところ、支管(50mm:ポリエチレン管)からのガス漏えいを確認した。 原因は、当日の工程には無い歩道の掘削が必要となったが、ガス事業者に対して工事内容の変更連絡を行わず、また、ガス管近傍の掘削を重機で行ったことにより破損に至ったものの。
6/4	兵庫県	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が作業中に埋設管を損傷したが、損傷したことに気付かず埋め戻し、後日、同じ水道工事業者が別の箇所を掘削し埋設水道管を切断、水道管のバルブを取り外そうとトーチバーナーを使用した際に爆発が生じた。 なお、当該住宅のオーナーには工事の際は販売事業者へ事前連絡の上、事前協議と工事の立会が必要である旨の周知を行っていたが、オーナー及び水道工事業者からの事前連絡はなかったとのこと。
6/14	大阪	建設工事	都市ガス	1	建設工事業者から「工事中にガス管を破損し一瞬火が付いたが今は消えている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(40mm)の破損を確認した。 原因は、バックホウ(掘削機)にて不明灯外内管を破損し漏洩したガスに、研り工事中に発生した火花が着火源となり引火したことによるもの。 建設工事業者よりガス事業者への事前照会は無し。 なお、研り作業中の作業員一名が軽度の火傷を負った。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
6/16	北海道	排水工事	都市ガス	0	排水工事業者から「敷地内排水工事中ガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、掘削溝内のコンクリート構造物のひび割れ箇所から灯外内管(50mm:白ガス管)のガス漏えいを確認した。 原因は、排水工事業者が排水工事に係る掘削工事を行った際、掘削ルート上にあったコンクリート構造物に巻き込まれたガス管を損傷させ、ガスが漏えいしたものと推定される。 排水工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/18	神奈川県	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者から「マンション敷地内舗装工事中、2か所でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、広範囲に臭気を確認した。二次災害防止のため、引込み管ガス遮断装置を閉止し、1棟76戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者が電動削岩機で舗装を壊した際、灯外内管(100mm)を損傷したものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/19	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内地下構造物解体工事中ガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、本管(150mm)を損傷したことを確認した。 原因は、オーガーで敷地内掘削中、道路に埋設されていた本管を損傷したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
6/23	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中ガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(32mm)の損傷を確認した。 原因は、解体工事中掘削機にて灯外内管を損傷したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/25	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中ガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(32mm)の損傷を確認した。 原因は、解体工事中掘削機にて灯外内管(不使用)を損傷したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/26	千葉県	足場工事	LPガス	0	当該共同住宅の隣に建設中の新築住宅の工事現場において、足場工事業者から埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした旨の連絡を受けた販売事業者は、足場工事業者に火気厳禁、メーターガス栓の閉止、消費者への周知、容器バルブの閉止を依頼し、現場へ出勤したところ当該漏えい箇所を確認した。 原因は、足場工事業者が設置する足場を固定するための杭を地中に打ち込んだ際、埋設ポリエチレン管を損傷したことによるもの。
6/28	大阪府	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がバックホーで、支管継手部を破壊し、ガスが漏えいした。
6/30	東京都	解体工事	LPガス	0	空き家となっている一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、販売事業者は解体工事業者に対して事前に埋設配管の存在及び閉止位置を伝えていたものの、作業員まで情報が伝わっておらず、埋設配管の存在を認識せずに作業を行ったため、重機で埋設配管を損傷してしまったものと推定される。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/4	徳島県	設備工事	LPガス	0	飲食店において、他工事業者(設備工事業者)がエアコン取付作業中に壁貫通工事を行った際、天井裏のガス配管(SGP25A)のエルボを誤って傷つけてしまったとの連絡を受けた販売事業者が現地に駆けつけたところ、損傷部からガスが漏れいていることを確認した。 原因は、他工事業者(設備工事業者)が事前に確認をせずに壁貫通工事を行ったことによるもの。
7/12	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管へ着火したとの通報があり出動したところ、灯外内管腐食漏れ箇所より漏出したガスに酸素溶接作業の火花が着火していた。 原因は自然劣化及び他工事によるもの。
7/12	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事中に灯外内管を損傷し、ガスが漏れいた。
7/17	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
7/17	沖縄県	水道工事	LPガス	0	共同住宅の地下共同溝内において、水道工事業者が給水管を切断しようとした際、誤って配管を切断し、ガスが漏れいた。 原因は、工事責任者が作業員に対し、切断する管を明確に指示しないまま現場を離れたことで、作業員がLPガス配管を水道管と誤認し、切断したことによるもの。
7/18	福岡県	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、外構工事業者より、庭の改修工事作業中に重機にて埋設供給管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、漏えいを確認した。 原因は、外構工事業者が販売事業者と事前協議した日程を前倒しし、また事前協議では予定していなかった重機を用いた作業を行い、埋設供給管を重機により損傷したことによるもの。
7/19	山形県	リフォーム工事	LPガス	0	一般住宅において、LPガスが漏れいたため、メーターが合計増加流量遮断を行うとともに、現場にいたリフォーム工事業者が容器バルブを閉めた。 原因は、他工事業者(リフォーム工事業者)が床下の配管用フレキシ管を電動ノコギリで切断したことによるもの。 なお、他工事業者(リフォーム工事業者)から事前にガス配管撤去工事を依頼する旨の連絡があり、具体的にはリフォーム工事の日程等が決定してから改めて連絡があるとのことであったが、その後連絡はなかった。また、事故のあった建物は店舗兼自宅であり、そのうち自宅にのみLPガスが供給されており、今回のリフォームは店舗部分によるものであった。
7/21	大阪府	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者から誤って供給管に接触し損傷させ、ガスが漏れいている旨の連絡を受けた消防が現場へ出動し、ガスの漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が作業中に重機をガスメーター入口側への立ち上がり供給管に接触させ、折損したことによるもの。 なお、販売事業者は不動産管理会社から解体工事が実施される旨の事前連絡を受けていたものの、その日程を聞いていなかったため、当日は販売事業者の立ち会いなく、工事が実施されたとのこと。



発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/21	岐阜県	給排水工事	LPガス	0	事務所において、給排水工事業者から埋設配管を損傷し、ガスが漏えいしたため、容器バルブを閉栓したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、配管の損傷を確認した。 原因は、給排水工事業者がコンクリート及びアスファルトの研り作業中に研り機で埋設配管(ポリエチレン管)を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者が現場へ到着した際には、漏えいは止まっており、安全装置の作動もなかったとのこと。
7/27	群馬県	害虫駆除	LPガス	0	共同住宅において、害虫駆除業者から、薬剤を注入するための穴を建物周囲に開けていたところ、誤って埋設管を破損させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設供給管からの漏えいを確認した。 原因は、住宅管理会社や害虫駆除業者から販売事業者から事前連絡がなかったことにより、埋設供給管を認識していない状態で作業を行ったことによるもの。
7/31	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防から「建物火災。アーケード撤去工事途中に出火。」との通報を受け、出動したところ、家屋の一部焼損及び灯外内管(32mm:塩化ビニルライニング鋼管)継手部に穴あき箇所を確認した。 原因は、消防によると、解体工事業者にてアーケード支柱撤去のため、溶断作業中、溶断の火花が灯外内管にあたり、穴あき・着火したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前照会無し。
7/31	千葉	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がアーケードの支柱撤去の溶断作業中、作業の火花で灯外内管継手部を破損し、漏えいしたガスに着火、家屋に引火・一部焼損したものの。
8/1	東京都	道路工事	LPガス	0	一般住宅において、集団供給先の一軒が都市ガスへ切り替えるために、作業を行っていた都市ガス工事業者が、道路の掘削作業時に埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、都市ガス工事業者が埋設管の存在を知らずに作業を行い、重機で埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者に対する事前の連絡は行われなかったとのこと。
8/8	京都	整地・造成工事	都市ガス	0	建設工事業者から「敷地内掘削工事中にガス管を破損。臭気及び噴出音あり」との通報を受け、出動したところ、供給管(25mm:ポリエチレンライニング鋼管:不使用管)が破損されていることを確認した。 原因は、建設工事業者が土留め工事中、バックホーにて、供給管の継手部を破損したものの。 建設工事業者からガス事業者への事前照会無し。
8/10	東京	水道改修工事	都市ガス	0	給水工事中にガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は他工事によるもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/17	愛媛県	解体・整地工事	LPガス	0	<p>一般住宅の跡地において、近隣住民からガス臭がする旨の連絡を受けた都市ガス供給業者が現場へ出動し、埋設供給管の継手部が損傷しガスが漏れいしていることを確認したため、漏れい箇所の応急処置を行い、LPガス販売業者に連絡した。連絡を受けた販売業者が現場にて漏れい箇所を確認し修理を行った。</p> <p>原因は、過去の火災で焼失した物件の解体及び整地工事を行っていた他工事業者が作業中に埋設供給管(ポリエチレン被覆鋼管)を損傷したことによるもの。</p> <p>なお、当該他工事業者は供給管の損傷に気付いていなかったとのこと。</p> <p>また、当該一般住宅はLPガスの集団供給から都市ガスへの切り替えを行っていたが、集団供給の供給設備である埋設供給管が敷地内に残存していたことから漏れいに至ったとのこと。</p>
8/22	大阪	水道工事	都市ガス	3	<p>協力企業から「道路面水道工事中、電動ブレーカーにてガス管を破損。火が付いたが消火済み。臭気あり。」との通報を受け、出動したところ、供給管(30mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。</p> <p>原因は、協力企業と水道工事業者が協議中、水道工事業者がバックホーで供給管を破損。漏れいしたガスに電動ブレーカーのモーター部の火花が着火源となり着火したものと推定される。</p> <p>着火により、水道工事業者2名と協力企業1名が火傷負傷し、それぞれ、自ら病院へ通院した。</p>
8/23	千葉	水道工事	都市ガス	0	<p>水道工事会社より非常に臭いとの通報を受け、現場に到着したところ、強い臭気を確認したため、消防に出動要請し、プラグ止めを行った。</p> <p>原因は、工事場所付近供給管があることを知っていたにもかかわらず、手掘りをせずに掘削したことによるもの。</p>
8/29	東京	下水工事	都市ガス	0	<p>工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。</p> <p>原因は、下水道工事の施工者が工事箇所付近にガス管が近接していないと判断し、工事を行ったため、埋設管を損傷したものの。</p> <p>なお、事前の工事照会はなかった。</p>
8/31	東京	建設工事	都市ガス	0	<p>工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。</p> <p>原因は、建設工事業者が新築工事の施工にあたり、事前に照会を行わないまま露出管を何らかの残置管と思い、アセチレントーチを用いて切断作業を行ったため、漏れいしたガスに引火、火災となったもの。</p>
9/6	奈良	解体工事	LPガス(簡易)	0	<p>ガス事業者から「解体工事業者から家屋解体中、ガス臭気あり」との連絡を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管取出し部(塩化ビニールライニング鋼管)を損傷させ、ガスが漏れいしていることを確認した。</p> <p>原因は、解体工事業者が敷地内の家屋解体工事中に、ガス管の存在を把握していなかったため、掘削機にて灯外内管及び供給管取出し部を破損したものの。</p>
9/6	東京	建物建築工事	都市ガス	0	<p>旧簡易ガス団地において、他工事業者(建設業者)が、家屋解体工事中に掘削機で灯外内管を損傷させた影響で、本支管と供給管の接続部からガスが漏れいし、特定製造所にて供給停止し、供給支障が発生した。</p>

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/6	埼玉	外構工事	都市ガス	0	需要家及び消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
9/7	千葉県	掘削工事	LPガス	0	空き地において、近隣住民からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、掘削業者が重機にて掘削作業を行っており、埋設供給管(ポリエチレン管)が損傷しガスが漏れいていることを確認した。原因は、掘削業者が作業中に重機を埋設供給管(ポリエチレン管)に接触させ、損傷させたことによるもの。なお、販売事業者はガス管が埋設されている旨の表示をしていたが、掘削業者からの事前連絡はなかったとのこと。
9/10	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し被覆が焼損していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
9/13	岡山県	建設工事	LPガス	0	共同住宅において、建設工事業者から土砂の撤去工事中にガスが漏れいた旨の連絡を受けた消防が現場へ出動したところ、埋設供給管(鋼管)からの漏れいを確認した。原因は、建設工事業者が作業中に埋設供給管に誤って重機を接触させ損傷させたことによるもの。
9/17	鳥取	解体工事	都市ガス	0	消防から「通行人からガス臭いとの通報」を受け、出動したところ、灯外内管(25mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。原因は、解体工事業者が埋設物を未確認のまま、境界ブロックを解体中に、誤って灯外内管を破損したが、ガス管破損に気が付かず放置したものの。
9/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで、支管継手部を破損し、ガスが漏れいた。
9/22	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がアースオーガーで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏れいた。
9/26	北海道	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	駐車場整備のため、重機による工事で誤って埋設管を破損し、ガスが漏れいた。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/28	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事中ガス管を損傷した」との通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
9/29	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで、供給管を破損し、ガスが漏えいした。
10/1	大阪府	解体工事	LPガス	0	空き家において、販売事業者が解体工事の立会を行い、ガスメーター立ち上がり部及び埋設配管の一部を撤去し、埋設配管を露出させ、プラグ止めを行った上で、次回の工程で配管に干渉する工事を行う場合には再度連絡をするよう解体工事業者に依頼した。しかし、後日行われた作業では、解体工事業者から販売事業者への事前連絡なく作業が行われ、解体工事業者が作業中に重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。なお、配管の撤去時と事故発生時は解体工事業者の担当者が異なっており、異なる担当者からも事前連絡を行うよう配管の撤去時の担当者に対し依頼していたが、販売事業者への連絡に関する担当者間の引継ぎが十分に行われていなかったとのこと。
10/4	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
10/11	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。
10/12	三重県	整地工事	都市ガス	0	他工事業者が整地工事をしていたところ、灯外内管を損傷しガスが噴出した。
10/15	奈良県	解体工事	都市ガス	0	協力会社(遠隔監視センター)より、「遮断信号受信」との通報を受けて調査した結果、マイコンメーターで圧力低下を確認。供給管継手部(アスファルトジュート巻き鋼管)の破損箇所への差し水が認められ、周辺の需要家において供給支障が発生した。原因は、家屋解体工事に伴い側溝をカットした際、埋設管を損傷したものの。
10/18	滋賀県	害虫駆除	LPガス	0	共同住宅において、管理会社からガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ容器が全て空になっていることを確認した。原因は、害虫駆除業者が当該建物の駆除作業を行う際に、薬剤を注入するための穴をドリルで開けた際に、埋設供給管を損傷させたことによるもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
10/19	奈良県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に埋設管を損傷し、ガス臭がしている旨の連絡を県協会を通じて受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設供給管(鋼管)が損傷し、ガスが漏れいていることを確認した。 原因は、解体工事業者が作業中に重機を埋設供給管に接触させ、損傷したことによるもの。 なお、当該一般住宅はすでに集団供給からオール電化に切り替えを行っており、消費者が敷地内に残存する埋設管の存在を知らなかったとのこと。 また、販売事業者も消費者に対し、敷地内に埋設管が残存する旨を伝えていなかったとのこと。
10/21	宮城県	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は、本来昭和50年に新たに供給管を取り出し直した際に本管でプラグ止めしておくべき古い管であったが、何らかの理由でプラグ止めされないまま放置され、図面上からも放置されていたことによるもの。
10/26	埼玉県	解体工事	LPガス	0	他工事業者が空き家解体作業中に使用していた小型ショベルカーでLPガス集中配管(埋設)を破損し、LPガスが漏れ出した。 他工事業者から誤って通報を受けた都市ガス事業者が元栓を閉止し漏れいを止めた。その後連絡を受けたLPガスの事業者が供給を受けていた全ての家庭(10戸)にボンベを設置し供給を再開した。なお、破損された集中配管(埋設)の復旧は未定。
10/28	大阪府	増改築工事	都市ガス	0	他工事業者(増改築工事業者)が掘削ドリルで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏れ出した。
10/29	岐阜県	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	駐車場等工事業者がが玄関前に手すりを設置するためのコア抜き作業中、灯外内管(PE管)を損傷しガスが漏れ出した。
10/29	大阪府	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がボーリングマシンで、灯外内管を破損し、ガスが漏れ出した。
10/31	宮城県	外構・門扉工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者が新築工事中に外構工事を行っていた際、小型重機で灯外内管を損傷し、ガス漏れが発生した。
11/1	愛知県	整地・造成工事	都市ガス	0	敷地内工事(新築のための掘削工事)中に他工事業者が灯外内管を損傷しガスが噴出し、消防が付近道路を交通規制した。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/2	鳥取県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が重機による作業中に供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、解体工事業者が外壁に固定されていた供給管ごと建物の解体を行ったことで、供給管が引っ張られ、上流の埋設供給管継手部に負荷がかかり折損したことによるもの。
11/5	京都府	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者がバックホーにて、供給管を破損し、ガスが漏えいした。 なお、事前に照会は無かった。
11/7	兵庫県	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
11/7	東京都	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は、整地工事業者がガス管の埋設物調査を行わず、未照会のまま掘削作業を行ったことによるもの。
11/8	兵庫県	増改築工事	都市ガス	0	他工事業者(増改築工事業者)がコアドリルで、灯内内管(亜鉛引き鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
11/8	埼玉県	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が重機を使って空き家の解体工事中にLPガス配管(埋設)を破損し、LPガスが漏えいした。解体事業者は都市ガス事業者へ通報し、出動した都市ガス事業者の従業員が漏えいしている配管にテープ巻きして漏えいを止めた。都市ガス事業者から連絡を受けた事業者はプラグ止めを行い、同日15時40分、復旧作業を完了した。当事故現場はLPガス50kg容器x18本の集団供給方式であったが、事故による他の需要家への供給停止は無かった。原因は他工事業者の作業ミスによるLPガス埋設管損傷。
11/14	大阪府	整地工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
11/15	長野県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者がオール電化への切り替えに伴った住宅の建て替えのための掘削作業を行っていたところ埋設管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、解体工事業者が重機を埋設供給管(ポリエチレン管)へ接触させ、損傷したことによるもの。 なお、当該住宅は、以前に集団供給による供給を行っていた建物であったが、事故当時は契約が解除されており、供給していなかったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/17	京都府	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
11/19	神奈川県	建設工事	都市ガス	0	需要家からガス臭いとの通報があり出動したところ、供給管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(建設工事)によると考えられる。
11/20	岐阜県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者からガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設配管(ポリエチレン管)が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。原因は、外構工事業者が作業中に重機を埋設配管に接触させ、損傷させたことによるもの。なお、販売事業者と外構工事業者は事前に協議を行い、配管の位置を確認しており、かつ配管の周囲には注意喚起の表示があったものの、誤って埋設配管に接触させてしまったとのこと。
11/20	福島県	解体工事	LPガス	0	空き家となっている一般住宅において、解体工事業者からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、集団供給で使用している埋設供給管(鋼管)が損傷し、ガスが漏えいしていることを確認した。原因は、解体工事業者が作業中に重機を埋設供給管(鋼管)に接触させ、損傷したことによるもの。
11/20	鳥取県	建設工事	LPガス	0	事務所において、建設工事業者から埋設管を損傷しガスが漏えいした旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設配管(白管)の中間ガス栓が損傷していることを確認した。原因は、建設工事業者が作業中に重機を埋設配管(白管)の中間ガス栓に接触させ、損傷したことによるもの。
11/24	東京都	基礎工事	都市ガス	0	ガス漏れにより着火したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は基礎工事によると考えられる。
11/26	神奈川県	芝刈り	LPガス	0	芝刈り業者の作業員が芝刈り機で誤って供給側のガス管を切断し、ガスが使用できなくなった。緊急対応事業者が対応し、その後事業者が配管のつなぎ替えをして午後には供給を再開した。原因は芝刈り作業ミスによる配管切断。
11/29	神奈川県	建物建築工事	都市ガス	0	消防から新築工事現場でガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/29	長野県	改装工事	LPガス	0	事業者はガス漏えいに気づいた需要家からの通報を受け、その場で元栓を閉めるよう指示して現場に出動した。損傷部分はメーターと消費設備の間の部分で、即修理を行い復旧した。原因はレストラン改装工事中に工事業者が誤って釘をガス管に打ち込み、ガスが漏えいしたものの。
11/30	京都府	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
11/30	東京都	建設工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建設工事)によると考えられる。
12/1	東京都	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。
12/3	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が解体作業物を倒壊したことで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
12/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
12/4	大阪府	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(新築工事業者)がオーガーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
12/6	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。



発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
12/6	山口県	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が宅内で漏水修理工事中にガフレキ配管を損傷し、ガスが漏えいしたのでバルブ閉栓し、ガスを止めてから事業者に通報。事業者は現場で復旧作業を行いガス供給を再開した。原因は水道工事業者の作業ミスと推定される。
12/8	兵庫県	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がコアドリルで、支管を破損し、ガスが漏えいした。
12/10	栃木県	建設工事	LPガス	0	建設会社がバックホウで掘削作業中に埋設ガス配管(PE管)を損傷し、ガスが漏えいした。事業者は損傷箇所を切断プラグ止めにて復旧済。原因は建設会社の埋設配管の事前確認不足と思われる。
12/11	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していたため、引込み管ガス遮断装置を閉止し供給支障が発生した。工事業者によると原因は他工事(改装工事)によると考えられる。
12/11	東京都	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(地盤調査)によると考えられる。
12/14	兵庫県	水道工事	LPガス(簡易)	0	旧簡易ガス団地において、水道工事業者が水道管入替工事中に供給管を重機で引っかけたことにより本管接続部から脱落しガス漏れが発生したため、特定製造所において全戸(88戸)の供給停止をした。
12/15	群馬県	解体工事	LPガス	0	家屋解体事業者からの通報で出勤し、現場では消防により容器のバルブが閉められガス漏れは停止していることを確認した。原因は他工事業者が家屋解体工事中に重機をぶつけてガス配管を損傷し、ガス漏れしたものと推定される。
12/24	福岡県	水道工事	LPガス	0	他工事業者が水道管工事の際、誤って埋設LPガス配管をディスクグラインダで切断しガス漏えいした。S型メータが遮断したため、ガス漏えいは少量。事業者は当該配管をプラグ止めして復旧済み。原因は他工事業者の作業ミスと推定される。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
12/25	東京都	解体工事	都市ガス	0	東京消防庁からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
12/26	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がカッターで、灯外内管(アスファルトジュート巻き鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
10/25	東京都	解体工事	都市ガス	0	建物所有者から、解体工事中の地下にてガス臭気がするとの通報を受けたガス事業者が調査したところ、地下1階のがれき撤去作業中にガス管が損傷したことを確認した。原因は、埋設管を縁切りされてる水道管と間違え、切断したことによるもの。
11/26	広島県	解体工事	都市ガス	0	解体工事中に灯外内管を破損した。
12/13	岡山県	解体工事	都市ガス	0	解体工事よりガス管を破損したとの連絡があり、調査したところ、ガス管の破損を発見した。原因は、家屋解体中に破損したことによるもの。
12/20	沖縄県	その他工事	LPガス(簡易)	0	他工事の不発弾磁気探査のため、ボーリング調査中、ガス管を貫通し破損。
12/21	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事に当たり、掘削機(バックホー)にて灯外内管を破損した。
12/26	長野県	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事中にメーター立て管を折損し、ガスが噴出した。